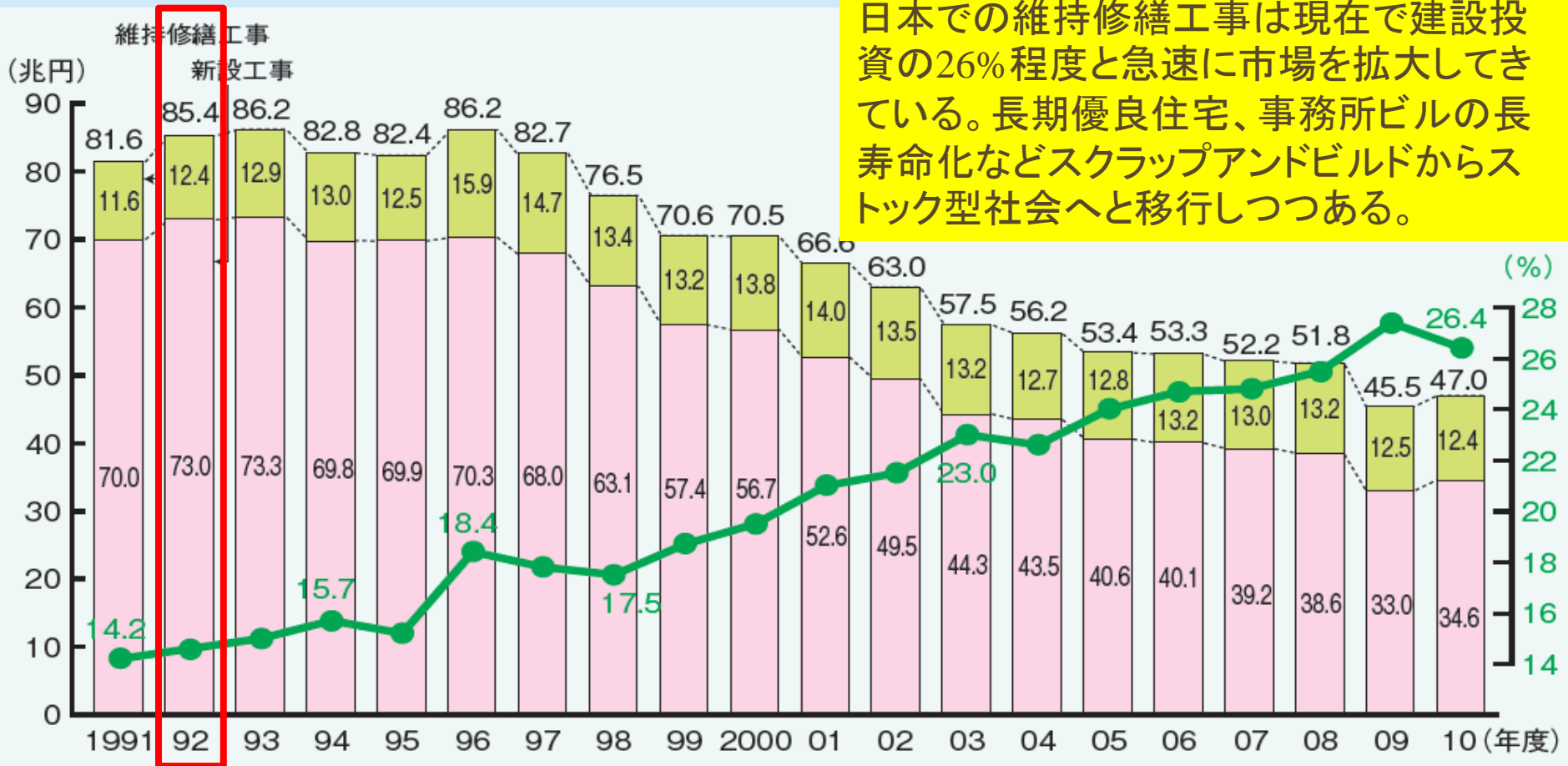


# 維持修繕工事の推移

日本での維持修繕工事は現在で建設投資の26%程度と急速に市場を拡大してきている。長期優良住宅、事務所ビルの長寿命化などスクラップアンドビルドからストック型社会へと移行しつつある。



(注) 1. 金額は元請完成工事高。建設投資 (前頁) との水準の相違は両者のカバーする範囲の相違等による。  
2. 維持修繕工事比率 = 維持修繕工事完工高 / 完工高計 (いずれも元請分)

資料出所：国土交通省「建設工事施工統計」

新規の建設市場の縮小が続く中で、ストックの増加を背景に安定した需要が見込める維持修繕工事市場が注目を集めている。建設マーケット全体に占める割合をみると、90年代前半は10%台半ばで推移していたが、90年代後半以降は上昇傾向にあり、2008年度以降は25%以上で推移している。